学校番号	1301

令和８年度　福祉科

教科	福祉	科目	介護福祉入門	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○みずからも含め社会で生活しているさまざまな人々の「ふだんのくらしのしあわせ」について、一緒に考えましょう。
- 卒業後、福祉・介護・医療・保育分野に進みたい人にとって必要とされる社会福祉に関する基礎的な知識や技術を学ぶとともに「福祉の心」も育みます。
- 夏季休業期間中等を活用して、自分の興味や関心のある福祉分野（児童・障がい・高齢者など）についてボランティア実習に参加します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
座学で介護に関する諸課題について考えたり、さまざまな場面を想定した演習を行ったりしながら、介護や福祉に関する基礎的な知識や技能を身につける。また、介護に携わる職業人としてはもちろん人として必要な倫理観やコミュニケーション力、主体性、協調性などを養う。
【思考力、判断力、表現力等】
座学や演習を通して、よりよい社会・よりよい介護をめざす能力（思考力、判断力、表現力等）を育成・深化する。
【学びに向かう力、人間性等】
授業全体を通して、よりよい社会・よりよい介護をめざそうとする態度を養う。また、介護に携わる職業人として、人として、のぞましい態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	座学と演習を通して、介護に関する基礎的・基本的な知識や技術を身につけ、介護の意義や役割を理解する。また、倫理観やコミュニケーション力なども身につける。	介護に携わる職業人としてはもちろん、人と関わるさまざまな場面を想定し、みずから判断し対応できる思考力を身につけ、それを表現する。また、演習によって得られた気づきやふり返りをもとに、みずから判断し、どのように行動することが望ましいかを多面的に考える。	よりよい社会・よりよい介護をめざして、介護に関する諸課題について考えたり演習をしたりしながら授業全体を通してみずから学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1～3	介護の意義と役割	ア　尊厳を支える介護 ・介護の意義、介護の目的などの必要性、また、虐待防止の重要性について扱う。 イ　自立に向けた介護 ・自立に向けた支援にむけて、自立の考え方を理解するとともに、自己決定と自己選択などについて扱う。	a:人間の尊厳を守る介護従事者としての専門性と基本姿勢を理解している。また、人間の尊厳について資料や情報を適切にまとめ、活用することができる。 b:人間の尊厳、尊厳を守る介護従事者としての役割や姿勢について理解を深め、介護従事者としてのあり方を考察している。 c:人間の尊厳について関心をもち、意欲的に取り組み、介護従事者として必要な倫理、態度とは何かを、学んだことを基にして、自ら考え行動に移すことができる。	教科書・プリントによる学習	プリント 実習での様子 実習後のレポート課題 調べ学習によるレポート課題	プリント 実習の態度や取り組み姿勢
	介護を必要とする人の理解と介護	ア　介護を必要とする人と生活環境 ・生活環境・習慣・歴、価値観、家庭や地域との関係が自立につながることを理解する。 イ　高齢者・障がい者の生活と介護 ・加齢・障がいにより生じる生活上の課題や生活を支える基盤について具体的な事例と関連付けて扱う。 ウ　介護サービスの概要 ・地域生活を支援していくために、介護の制度について扱う。	a:高齢者・障がい者の特徴と生活上の課題、日常生活の援助方法についての基本的な知識、技術を身につけている。 b:高齢者や障がい者の特徴と生活上の課題について理解を深め、高齢者や障がい者の生きがいに満ちた心豊かな生活を実現させるための支援のあり方について考察している。 c:高齢者や障がい者の特徴と生活上の課題について関心をもち、高齢者や障がい者の生きがいに満ちた心豊かな生活を実現させるためのあり方について意欲的に追求しようとしており、学んだことをいかして行動することができる。	教科書・プリントによる学習	プリント 実習での様子 実習後のレポート課題 調べ学習によるレポート課題	プリント 実習の態度や取り組み姿勢

	介護のおける安全確保と危機管理	介護における安全確保と危機管理 ア　介護における安全と事故対策 ・リスクを事前に察知し、その対策を取ることにより介護における危機管理の重要性について身近な事例と関連付けて扱う。 イ　介護従事者の健康管理 ・良質な介護の提供には介護従事者の心身の健康管理について扱う。 ウ　感染対策 ・基本的な感染症対策について具体的な事例と関連付けて扱う。 エ　福祉用具と介護ロボット ・福祉用具と介護ロボットを活用する意義や目的、基礎的な知識安全対策などについて理解する。	a:安全確保と危機管理について理解し、制度や資料、情報を活用し、基礎的な内容を理解している。 b:安全確保と危機管理について理解を深め、適切な介護の方法について、多面的・多角的に考察している。 c: 安全確保と危機管理の必要性について関心をもち、学んだ知識を、事例などを通して自ら考えることができる。	教科書・プリントによる学習	プリント 実習での様子 実習後のレポート課題 調べ学習によるレポート課題	プリント 実習の態度や取り組み姿勢

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度